



2022年2月14日

各位

会社名 株式会社フジオフードグループ本社
 代表者 代表取締役 藤尾政弘
 (東証第一部 コード番号 2752)
 問合せ先 執行役員 経営企画部長 岡野匡哉
 TEL 06-6360-0304

予想値と実績値の差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年8月12日に公表いたしました2021年12月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたこと、また、特別損失を計上しましたことを、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,073	百万円 △2,734	百万円 1,906	百万円 802	円 銭 18.54
実績値(B)	25,453	△3,343	2,830	709	16.27
増減額(B-A)	△1,620	△609	923	△93	—
増減率(%)	△6.0%	—	48.4%	△11.6%	—
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	26,805	△2,971	△2,876	△4,998	△115.82

2. 差異の理由

当連結会計年度の業績につきまして、2021年8月12日時点の予想においては、新型コロナウイルス感染症の影響がワクチン接種の進捗とともに収束に向かうことを想定しておりましたが、感染拡大に伴う長期に渡る政府及び各自治体からの営業時間短縮要請や人々の外出自粛の影響を受けたことにより、売上高及び営業利益は前回発表予想を下回ることとなりました。しかしながら、経常利益は、時短協力金を営業外収益として計上したことを受け、前回予想を上回る結果となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記3.に記載のとおり特別損失を計上したことにより、前回予想を下回ることとなりました。

3. 特別損失の計上

当社は、2021年12月期第4四半期連結会計期間において、収益性の低下がみられた店舗等について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として797百万円を計上いたしました。当該項目につきましては、本日公表の「2021年12月期 決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

以上